

件名 **令和最初の出初式**

1月12日（日） 岩国市消防団東方面隊愛宕分団

令和2年岩国市消防出初式が、横山河川敷グラウンドで約1500名の消防関係者が集い開催されました。当愛宕分団（分団長 河村正己）からも団員と消防車両が参加し、ことし1年の防災を誓いました。

昨年は台風15号や19号により関東、東北地方では甚大な被害が発生しました。一方、一昨年の「7月豪雨」では当地方でも大きな災害が発生したところです。

式典で福田市長は、「いつ、どこで災害が起こるかわからない中、災害に強い強靱なまちを皆さんと共に作っていき」と式辞。そのあと、永年にわたり消防活動に尽力され、功績のあった消防団員らが表彰されました。地域の安心・安全のため地域防災力、近年、予測をはるかに超える突発的な災害発生にいかにか備えるかが、地域住民も巻き込んだ喫緊の課題となっています。

式典終了後は、堂々と分列行進を行った後、錦帯橋下河原に移動し、錦帯橋をバックに一齐放水のアトラクションが行われました。新春の一大風物詩の一つです。

なお、団員の方々は、日頃は仕事をされながらも、有事の際には住民の皆さまの生命と財産を守るという強い郷土愛と責任感により献身的に防災活動に携わっておられます。



7時過ぎに愛宕分団車庫を出発

